別紙様式第1　様式2

個票 ①

（令和7年度予算分）　地域少子化対策重点推進交付金　実施計画書　（市町村分）　個票

自治体名	新潟県五泉市
本事業の担当部局名	こども家庭課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分	一般メニュー					
関連事業メニュー	1_1_3 出会いの機会・場の提供に関する取組					
個別事業名	縁結び支援事業				新規／継続（一般財源での実施も含む）	継続
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成29年度
総事業費（A）（円）	328,900	寄付金その他の収入予定額（B）（円）	0		差引額（A−B）（円）	328,900
対象経費支出予定額（円）※補助率を乗じる前の額	328,900					

費用内訳（円）	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	328, 900	0	0	0		328, 900
	対象経費支出予定額	328, 900	0	0	0		328, 900
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					

自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通

「五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「未来世代を守り育てる」ことを基本目標の一つとして掲げ、若い世代が希望どおり結婚し、安心して子どもを産み育てることができる支援の充実を図ることとしています。

結婚を望む人に対し、出会いの機会を提供するとともに、妊娠期から子育て期を安心して過ごすことができる環境整備にも努め、若年層の市外流出に歯止めをかける取り組みをしています。

＜本個別事業の位置付け＞

第2次総合計画において「賑わいあふれる活気あるまち」を掲げ、地域の魅力を活かし、若年層の転出抑制に取り組んでいます。

そのきっかけづくりとして本事業は位置づけられており、出会いの場の提供、各種イベントの情報発信に取り組んでいる。

個別事業の内容

番号	項目	内容
1	市主催の婚活イベント	概ね30～40歳代の結婚を希望する独身男女を対象に、委託による婚活イベントを開催する。 イベント内容：未定（気軽に楽しく体験できるワークショップやスポーツのイベントを開催予定。） 開催回数：1回 募集人数：男女各10名程度 当日の流れ：自己紹介→中間投票→イベント→フリータイム→最終投票→カップル発表
2	有機的連携	イベント前に、参加時の心構えや服装等を学ぶことができる事前セミナーを開催する。 イベント周知のため、市内事業所および近隣市町村へチラシの設置、ポスターの掲示を依頼する。 五泉市公式LINEアカウントでイベント情報を発信するとともに、、近隣市町村へSNS等を利用した情報発信や新潟県が運営する「ハピニイ」への掲載を依頼する。
3		

＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組（ステップアップ）＞

女性の参加申し込みが少ない。

市内商工会議所、当市と連携協定を結んでいる事業所等にも協力をお願いし、より多くの人にイベントの存在を認知してもらう。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		人	1.28 (R8年度)	0.91 (R6年度)
	出生数		人	953 (R3～R7の合計数値)	151 (R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			0.91 (R6年度)	
	婚姻件数		件	98 (R5年)	
	婚姻率			2.2 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	イベント回数	回	1 (R8年度)	1 (R6年度)
	②	イベント参加者数	人	20 (R8年度)	19 (R6年度)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100 (R8年度)	90 (R8年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	イベントでのカップル率	組	5 (R8年度)	4 (R6年度)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

別紙様式第1　様式2

個票 ②

（令和7年度予算分）　地域少子化対策重点推進交付金　実施計画書　（市町村分）　個票

自治体名	新潟県五泉市
本事業の担当部局名	こども家庭課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1_2_2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名	縁結び支援事業（ライフデザイン分）					新規／継続（一般財源での実施も含む）	新規
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日			事業開始年度	令和8年度
総事業費（A）（円）	110,000		寄付金その他の収入予定額（B）（円）	0		差引額（A−B）（円）	110,000
対象経費支出予定額（円）※補助率を乗じる前の額	110,000						

費用内訳（円）	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	110,000	0	0	0		110,000
	対象経費支出予定額	110,000	0	0	0		110,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					

自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通

「五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「未来世代を守り育てる」ことを基本目標の一つとして掲げ、若い世代が希望どおり結婚し、安心して子どもを産み育てることができる支援の充実を図ることとしています。

結婚を望む人に対し、出会いの機会を提供するとともに、妊娠期から子育て期を安心して過ごすことができる環境整備にも努め、若年層の市外流出に歯止めをかける取り組みをしています。

＜本個別事業の位置付け＞

第2次総合計画において「信頼あふれる安心のまち」を基本施策としており、安心して子育てができるまちづくりをしている。

本事業は、結婚後のライフイベントに関する知識や情報を習得し、安心して妊娠や子育て等の選択ができるように環境づくりを目指し取り組む。

個別事業の内容

番号	項目	内容
1	市主催の婚活ライフデザインセミナー	講師を招き、婚姻をした夫婦を対象に、妊娠、子育て等、将来のライフイベントに関する知識や情報を提供するセミナーを開催する。 開催回数：1回 時間：1時間程度 開催形式：セミナー形式 対象者：婚姻をした夫婦
2	共有・周知	対象者に広く周知できるよう、市のホームページへの掲載や公式LINEアカウントでの配信を行う。また、市内事業所や近隣市町村に協力を依頼し、チラシの配付、設置を行う。
3		

＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組（ステップアップ）＞

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		人	1.28 (R8年度)	0.91 (R6年度)
	出生数		人	953 (R3～R7の合計数値)	151 (R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			0.91 (R6年度)	
	婚姻件数		件	98 (R5年)	
	婚姻率			2.2 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	イベント回数	回	1 (R8年度)	―
	②	イベント参加者数	人	20 (R8年度)	―
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100 (R8年度)	―
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	―	―
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100 (R8年度)	―
	④	理想のライフデザインを考えるきかっけとなったと回答した人の割合	%	90 (R8年度)	―
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

別紙様式第1　様式2

個票 ③

（令和7年度予算分）　地域少子化対策重点推進交付金　実施計画書　（市町村分）　個票

自治体名	新潟県五泉市
本事業の担当部局名	こども家庭課

事業メニュー	結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分	一般メニュー					
関連事業メニュー	3_1_3 企業等が地域等のために結婚を希望する者の新たなマッチングの可能性を創出する取組					
個別事業名	街コン等推進事業				新規／継続（一般財源での実施も含む）	継続
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成24年度
総事業費（A）（円）	200,000	寄付金その他の収入予定額（B）（円）	0		差引額（A−B）（円）	200,000
対象経費支出予定額（円）※補助率を乗じる前の額	200,000					

費用内訳（円）	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	0	0	0	200, 000		200, 000
	対象経費支出予定額	0	0	0	200, 000		200, 000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					

自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通

「五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「未来世代を守り育てる」ことを基本目標の一つとして掲げ、若い世代が希望どおり結婚し、安心して子どもを産み育てることができる支援の充実を図ることとしています。

結婚を望む人に対し、出会いの機会を提供するとともに、妊娠期から子育て期を安心して過ごすことができる環境整備にも努め、若年層の市外流出に歯止めをかける取り組みをしています。

＜本個別事業の位置付け＞

第2次総合計画において「賑わいあふれる活気あるまち」を掲げ、活気と魅力のあふれる交流のまちを目指している。

本事業では、上記を達成するために、イベントを実施する団体に補助金を交付する。

個別事業の内容

番号	項目	内容
1	街コン実施団体への補助金	団体の構成員および地域の人を対象に出会いの機会を提供する団体へ、補助金を交付する。 補助金額：上限　200,000円
2	有機的連携	団体と情報を共有し、イベントに係る周知を行う。具体的には、チラシやポスターの設置、市広報紙および五泉市公式LINEアカウントを利用した情報発信を行う。
3		

＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組（ステップアップ）＞

参加者について男性の割合が高く、男女比が均等でなかったことから、当市広報紙、公式LINEアカウントも用いながら、女性向けのPRを強化していく。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		人	1.28 (R8年度)	0.91 (R6年度)
	出生数		人	953 (R3～R7の合計数値)	151 (R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			0.91 (R6年度)	
	婚姻件数		件	98 (R5年)	
	婚姻率			2.2 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	補助件数	件	1 (R8年度)	2 (R6年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	63 (R6年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	―	―
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	52.7 (R6年度)
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

別紙様式第1　様式2

個票 支援プ①

（令和7年度予算分） 地域少子化対策重点推進交付金　実施計画書 （市町村分） 個票

自治体名	新潟県五泉市
本事業の担当部局名	こども家庭課

事業メニュー	結婚・妊娠・共育ての相談機会提供・支援プログラム					
区分	都道府県主導型市町村連携コース					
関連事業メニュー	4_2 結婚・妊娠・共育ての相談機会提供・支援プログラム（都道府県主導型市町村連携コース）					
個別事業名	五泉市結婚新生活支援事業				新規／継続（一般財源での実施も含む）	継続
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和8年度
総事業費（A）（円）	1,500,000	寄付金その他の収入予定額（B）（円）	0		差引額（A−B）（円）	1,500,000
対象経費支出予定額（円） ※補助率を乗じる前の額	1,500,000					
費用内訳（円）	個別事業の内容のとおり					
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通 「五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「未来世代を守り育てる」ことを基本目標の一つとして掲げ、若い世代が希望どおり結婚し、安心して子どもを産み育てることができる支援の充実を図ることとしています。 結婚を望む人に対し、出会いの機会を提供するとともに、妊娠期から子育て期を安心して過ごすことができる環境整備にも努め、若年層の市外流出に歯止めをかける取り組みをしています。 ＜本個別事業の位置付け＞ 第2次総合計画において「信頼あふれる安心のまち」、「賑わいあふれる活気あるまち」を目指す取り組みとして位置づけられており、若い世代への住宅支援を充実させ、経済的不安から結婚に踏み出せない人を支援する。					

個別事業の内容

1. 概要

【対象費用】

○	住宅取得費用	○	住宅リフォーム費用	○	住宅賃借費用	○	引越費用

【補助対象要件】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載

所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満
	自治体独自基準	
年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯
	自治体独自基準	

【補助上限額】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載

29歳以下の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円
	自治体独自基準	
39歳以下の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円
	自治体独自基準	

【その他独自要件】

・夫婦ともに市税の滞納がないこと
・夫婦双方が、五泉市暴力団排除条例に規定する暴力団員ではない、又は暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有していないこと
・夫婦双方が、五泉市に2年以上定住意思があること

2. 申請見込

①新規世帯見込	4	世帯	②継続補助世帯見込	0 世帯
上記のうち	ともに29歳以下	1 世帯	（継続補助規定の有無）	有
	その他	3 世帯		

【世帯数積算根拠】

令和7年度の当事業における支給実績および申請見込をもとに算出。
R7年度　29歳以下：1件　60万円
　　申請見込：3件　30万円超えの申請見込なし

（参考）
【令和7年度申請状況】 実施中

申請世帯数見込	4	世帯
～12月(実績)	1	世帯
1月～3月(見込)	3	世帯

【金額積算根拠】

＜上限額＞

（29歳以下）	1	世帯	×	600,000 円	=	600,000 円
（その他）	3	世帯	×	300,000 円	=	900,000 円
				（継続補助）		0 円
				合計		1,500,000 円

＜左記の上限額の合計を使用しない場合の積算＞

3. 広報の実施予定

・五泉市広報およびホームページへ掲載する。
・五泉市公式LINEアカウントを利用し、情報を配信する。
・婚姻届出時に、事業チラシを配付する。
・新潟県が認定する「ハッピーパートナー企業」および市所管施設へポスターの掲示を依頼する。
・全国宅地建物取引業協会連合会の地区総会時に不動産事業者へ事業チラシの配付を依頼する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通

KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
合計特殊出生率	人	1.28 （R8年度）	0.91 （R6年度）
出生数	人	953 （R3～R7の合計数値）	151 （R6年）

参考指標 ※全事業共通

項目	単位	直近の実績値(時点)
合計特殊出生率		0.91 （R6年度）
婚姻件数	件	98 （R5年）
婚姻率		2.2 （R5年）

個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標

番号	KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	（アウトプット）			
①	支給世帯実績／支給見込世帯数の割合	%	100 （R8年度）	100 （R6年度）
	（アウトカム）			
①	結婚・妊娠・共育ての相談機会提供・支援プログラムに関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	50 （R8年度）	25 （R6年度）
②	結婚・妊娠・共育ての相談機会提供・支援プログラムに関するアンケートにおける「地域に応援されていると感じた世帯の割合」	%	100 （R8年度）	100 （R6年度）